

原発事故後の福島之音環境に何を聞くか

永幡 幸司

2011年5月1日、私は原発事故後初めて小鳥の森を訪れた。この森は、昔ながらの里山をモデルに、人の手が適切に入ることによって育てられてきた小鳥のサンクチュアリだ。1996年には残したい日本の音風景100選（旧環境庁による事業）にも選ばれている。ゴールデンウィーク中の日曜日、事故前であれば、小鳥たちの声と共に新緑を楽しむ人々の声で満ち溢れていた。

その日、私がそこで聞いた音。例年どおり新緑を楽しむかのように囀る小鳥たちの声、風に揺れる木々の音、そして水辺からは蛙の声。聞かなかった音、それは人の声。

小鳥の森のレンジャーに聞くと、森にいる野鳥たちは種類、数ともに、事故前と何ら変わりはないと言う。それに引き替え人々は、少しでも被曝を避けるために、建物の中に引きこもっていた。放射能による沈黙の春、それはレイチェル・カーソンが描き出した世界とは異なり、被曝を怖れて沈黙したのは人々の方であった。

8月5日、再度この森を訪れた。例年であれば、やかましいほどの蝉時雨とざりがに釣りを楽しむ子供たちの声が名物の、夏休み真只中の1日だ。

小鳥の森ではなく蝉の森ではないか、と言いたくなるほどの蝉時雨は健在だった。蝉たちに押され気味ではあるが、小鳥たちも元気に鳴いていた。レンジャーによれば、生き物たちに放射線の影響は見られないとのこと。

そんな中、ただ聞こえてこないのは、子供たちの声だ。この森に隣接する市民霊園にホットスポットが見つかり、森の利用者と共用の駐車場に利用制限の看板が掲げられた夏、子供たちが訪れることはまずなかった。人々の放射能による沈黙は続く。

年が明けて2012年1月22日、大雪が積もったこの森で、雪にも負けず鳥は鳴いていた。私は雪に負け、この日は森の入口までしかたどり着けなかった。

5月26日、森にまた、緑の美しい季節が巡ってきた。小鳥たちはまた、新緑を謳歌していた。風にゆらぐ木々の音も聞こえてくる。しかし、人々の声は、未だに聞こえてこなかった。放射能による沈黙が続くこの森では、この日、1km位先の国道を街宣している右翼の軍歌がクリアに聞こえてきた。

そして、8月5日、蝉時雨はまた森中に響き渡り、子供たちの沈黙もまた続いていた。



2011年5月1日



2011年8月5日



2012年1月22日



2012年5月26日



2012年8月5日

原発事故後の小鳥の森の様子



このような放射能による沈黙は、原発事故後しばらくの間、福島市内のいたるところで見られた光景だ。除染が始まり、それがうまくいったところでは、人々の声が戻ってきている。しかし、除染がうまくいかなかったところや、小鳥の森のようにそもそも除染対象から外れてしまったところでは、未だに放射能による沈黙が続いている。

WHO（世界保健機関）によれば、健康とは「完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」。だとすると、人々が放射能による沈黙を作り出すような生活を送ることは、健康な生活と言えるだろうか。また、本稿を読んでいる皆さんの中に、放射能による沈黙と隣り合わせの生活がしたいと願う人がどれだけいるだろうか。

福島の低線量被曝の健康影響が語られる際、安全論者にせよ、危険論者にせよ、ほとんどの場合、病気になるか否かのみを論点とする。しかし、生活者にとっての健康とはそんなものではない。市民が本当に望んでいることは、身体的にも、心理的にも、社会的にもよい状態で生活ができること、すなわち、WHOの定義する意味での健康な状態で生活することだ。そして、国や県が守らなくてはならないのは、市民がこの意味での健康な生活を送る権利なのではないか。

原発事故後の福島の音環境に耳を傾けながら、私はこんなことを考えてきた。



福島のサウンドスケープに興味を持たれた方は、下記のURLを閲覧ください。

『福島サウンドスケープ』

http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~nagahata/fsp_311/index.html

また、2013年3月11日、福島とフランスで原発事故をテーマにした音の作品を集めたネットラジオの公開放送イベントを行います。詳細情報は下記のURLにて。



<http://droitdecites.net/websynradio/>

MONDAY 11 MARCH 2013

A WINDOW ON FUKUSHIMA

A public radio broadcasting Maison Laurentine (France) / Fukushima Kitchen Garden (Japan) hosted and curated by Dominique Balaÿ and Koji Nagahata + infos : <http://www.laurentine.net/> <http://fukushima-open-sounds.net/>

→ This project is supported by Faculty of Administration and Social Sciences (ADS), Fukushima University

<http://fukushima-open-sounds.net/>